

# 「区域切除症例におけるリンパ節転移陽性例の予後の検討」へご協力をお願い

— 2013年1月～2019年12月の間に、当院で肺がん切除を受けた患者様へ —

研究責任者 岩国医療センター 胸部外科 渡邊 元嗣

## 1. 研究の背景・目的

早期肺がんの治療を行う上で手術は最も根治率の高い治療ですが、肺を切除するため呼吸機能の悪化はまぬがれません。2022年に、リンパ節転移を伴わない小型肺がんに対して、従来の葉切除よりも切除量を縮小した区域切除が推奨される結果が発表されました。そこで、呼吸機能が低下しており、様々な理由から区域切除を受けた患者様において、リンパ節転移が陽性であった方の術後の経過を、従来の葉切除を受けた方と比較検討することにより、今後の肺がん治療における手術適応を再検討することです。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2013年1月～2019年12月までに、当院で非小細胞肺癌に対して区域切除または葉切除を行い、リンパ節転移が陽性であった患者様が対象となる予定です。

### 2) 研究期間

2023年2月開催倫理委員会承認後～2024年12月

### 3) 研究方法

研究者が既存のカルテ情報からの情報を取得し、解析を行います。

### 4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。抽出項目は性別、年齢、BMI（身長と体重から計算）、併存症、術前の呼吸機能検査結果、肺癌のできた場所、術式、再発の有無、生存の有無に関する情報です。

### 5) 情報の保存・二次利用

この研究に使用した情報は、匿名化した上で、研究終了について報告後5年間当院に保存し、新たな医学研究に使用させていただきます。また、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、岩国医療センターのホームページに情報を開示してお知らせします。

カルテデータから抽出し評価する観察研究であり、患者さんの個人情報を抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配はありません。この研究にご質問等がありましたら、下記の間合せ先にお尋ね下さい。

## <問い合わせ・連絡先>

研究責任者：岩国医療センター胸部外科 医師 渡邊 元嗣

〒740-8510 山口県岩国市愛宕町1丁目1番1号

TEL 0827-34-1000（代表）